

## 情報技術基礎

|       |                              |     |   |       |             |
|-------|------------------------------|-----|---|-------|-------------|
| 教 科   | 工業（建築インテリア）                  | 単位数 | 2 | 学科・学年 | 建築インテリア科 1年 |
| 使用教科書 | 情報技術基礎（コロナ社）                 |     |   |       |             |
| 副教材等  | 情報技術検定（3級標準問題集）、配布プリント、パソコン等 |     |   |       |             |

## 「情報技術基礎」はどんな科目？

- 社会における情報化の進展と情報の意義や役割、問題点を理解する科目です。
- 情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得する科目です。
- 情報および情報手段を活用する能力態度を育てる科目です。
- 授業で学んだことを活かし、情報技術検定に挑戦します。

## 「情報技術基礎」の学習の特徴は？

- コンピュータに関する基礎的な知識と技術を、図や表などを用いてできるだけ分かりやすく説明するように心がけています。
- コンピュータの操作方法やプログラムの作成は実習との連携で行ない、興味・関心を持って学習できるように配慮します。
- 情報技術検定の取得を目指し、演習問題を通して生徒の学習に対する態度を育てます。
- 情報の収集発信と、自己責任、プライバシーの保護、著作権の保護などにも配慮します。

## 「情報技術基礎」で大切なこと（留意点）は？

- 日頃から情報に関することに興味・関心を持って生活してください。
- 興味を持った内容は、自ら発展的な学習に取り組んでください。
- 実習で学習したことと照らし合わせながら学習してください。
- 情報技術検定の取得を目指すため、自主的な学習に取り組んでください。。

## 1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

|             | 月  | 学 習 内 容 (単元名)   | 学 習 の ね ら い   |
|-------------|----|---|---|
| 1<br>学<br>期 | 4  | 第1章産業社会と情報技術<br>1.1産業社会の変化 1.2情報機器とその進展   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 情報に関するスキルを学習する。</li> <li>• コンピュータを取り扱うにあたって、基礎知識を学習します。<br/>(情報処理とコンピュータの概要について)</li> <li>• 2進数,10進数,16進数について学習します。</li> </ul>       |
|             | 5  | 1.3情報ネットワーク <中間考査><br>第2章コンピュータの基礎  |   |
|             | 6  | 2.1数の表現と演算 2.2論理回路 2.3コンピュータの動作原理<br>2.4コンピュータの基本構成 <期末考査>  |   |
|             | 7  | 2.5中央処理装置とその動作<br>第3章コンピュータシステム   |   |
|             |    | 3.1コンピュータのシステム 3.2コンピュータのハードウェア<br>3.3オペレーティングシステムの基礎   |   |
|             |    | 3.4アプリケーションソフトウェアの利用 3.5コンピュータネットワーク  |   |
|             |    | 第4章プログラミングの基礎   |   |
| 2<br>学<br>期 | 8  | 4.1プログラミングの種類 4.2流れ図 4.3プログラミングの書き方<br>4.4式と計算 4.5データ入力と変数 4.6分岐のプログラミング<br>4.7繰返しプログラミング 4.8配列 4.9探索 <中間考査><br>4.10最大値・最小値 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• アプリケーションソフトウェアの実習を行い、ソフトの特徴や基本的な操作方法を学習します。</li> <li>• BASIC言語を用いた基本的なプログラミングを学習します。</li> <li>• 情報技術検定3級取得を目指した問題演習を行います。</li> </ul> |
|             | 9  | 第5章コンピュータ制御の基礎  |   |
|             | 10 | 5.1コンピュータと制御 5.2コンピュータ組み込み技術<br>5.3マイコンコンピュータの活用 <期末考査>   |   |
|             | 11 | 第6章情報技術の活用  |   |
|             | 12 | 6.1情報の収集と活用   |   |
| 3<br>学<br>期 | 1  | 6.2ドキュメンテーションの技法 6.3マルチメディアの活用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• グループ活動として、テーマに基づいた意見発表を情報機器を用いて行います。</li> </ul>  |
|             | 2  | 6.4プレゼンテーションの技法   |   |
|             | 3  | 総合実習グループ活動（調査・分析結果の発表）<br><学年末考査>   |   |
|             |    |   |   |

## 2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

|          |  |                                  |
|----------|--|----------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | ・情報技術に関心をもち、知識、技術の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際の生活で活用しようとする実践的な態度を身につけようとしている。 | ・授業準備<br>・授業態度<br>・出席状況<br>・課題提出 |
| 思考・判断・表現 | ・情報技術に関する諸問題を把握し、解決を目指して自ら思考を深め、実際に情報や情報機器を適切に利用するための判断をすることができるか。     | ・発表内容<br>・ノート記述                  |
| 技能       | ・情報機器を正確に使用し、その成果を適切に表現できるか<br>・基本的なコンピュータの操作とプログラミングができるか。            | ・ノート記述<br>・テスト記述                 |
| 知識・理解    | ・情報に関する基礎的な知識を理解し、社会における情報化の意義や役割、課題を理解しているか。                          | ・テスト記述<br>・小テスト内容<br>・発表内容       |

評価の方法は、小テスト・定期考査・行動観察によって行います。

また、1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

## 3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

情報は、これからの情報化社会で生活していくため、学科にかかわらず全ての高校生が学ぶ学習科目です。自分たちを取り巻く生活環境の中に、情報技術基礎で学ぶ技術や知識が取り入れられていることに興味を持ってください。また、実習など他教科と関連付けて学んでいくとより一層理解が深まります。

宿題や課題などの家庭学習を期限に出すことが、高等学校での授業のマナーです。1月に全員で情報技術検定という資格試験に挑戦しますので、家庭学習も含めた個人レベルでの取り組みも重要になります。